



## 県立高校・Ⅰ期選抜 募集定員が発表されました

11月8日(土)の新聞に平成27年度県立高等学校Ⅰ期選抜と連携中学を受け入れる連携する選抜募集定員が発表されました。新聞では、「全定員に占めるⅠ期選抜の募集定員割合は、全日制、定時制を合わせ31.5%となり、今春を0.5%下回った。低下したのは7年ぶり。これはサテライト校が募集停止となるため。」とありました。現在、三者相談中ですが、進路状況の確認や目標設定等について相談させていただき、生徒一人一人が、進路実現に向けてしっかりと考えていけるよう指導していきたいと思ひます。

### 県立高等学校Ⅰ期選抜枠

学 校 名	学 科	定 員	Ⅰ期枠	学 校 名	学 科	定 員	Ⅰ期枠
安 積	普通	320	10%	須賀川	普通	200	45%
安積黎明	普通	320	10%		オプ入情報	40	45%
郡山東	普通	280	25%	須賀川桐陽	普通	200	35%
郡山商業	流通経済	120	40%	清陵情報	情報電子	80	45%
	会計	80	40%		電子機械	80	45%
	情報処理	80	40%		情報処理	80	45%
郡山北工業	情報会計			情報会計	40	45%	
	機械	80	45%	光 南	総合	200	45%
	電気	40	45%				
	電子	40	45%				
	情報技術	40	45%				
建築	40	45%					
郡 山	化学工学	40	45%	石 川	普通	80	40%
	普通	240	10%	小 野	総合	120	45%
英語	40	20%	小野平田		普通	40	20%
あさか開成	国際科学	200	25%	白河旭	普通	200	30%

★各高等学校で校長裁量として5%プラスの弾力的な対応をとる場合もあります。

## ◆ 県立Ⅰ期選抜に向けて ◆ ～求められるもの～

### 条件1「進路設計」

各高校が示している「志願してほしい生徒」に該当する生徒

- ①進路設計が確立していること
- ②入学する目的意識や動機が明確であること
- ③入学に対する強い意識があること

→志願理由書が自分で書ける。志願理由を面接でしっかり伝えることができる。

### 条件2「学力」

受験希望高校にⅡ期選抜でも合格できるだけの学力がついている生徒

- ①Ⅰ期受験対策にも十分に時間をかけることができる学力がついていること
- 志願理由書作成がある。 ■面接練習がある。 ■小論文(作文)練習がある。

- ②入学後の学習について行ける基礎学力を備えていること

→高校卒業後の進路希望の実現に直結します。

### 条件3「精神力」

仮にⅠ期受験に失敗しても、Ⅱ期選抜の受験に踏み切ることができる生徒

- ①逆境の中でも進路設計・目的意識がぶれないこと
- ②受験制度の正しい理解があること

→Ⅰ期選抜の倍率は、Ⅱ期に比べて相当高くなることが予想されます。

高い倍率では2倍、3倍となる高校もあります。

### ☆これからの総合学習の取り組みについて☆

県立Ⅰ期選抜試験・私立推薦入試では、作文(小論文)や面接が行われます。学年としては今後、これからの総合学習の時間(「私の生き方」)を活用して、作文(小論文)指導・面接指導を行っていく予定です。

そのため、Ⅰ期選抜試験を希望している生徒は、家庭学習においても、作文・面接の練習に使われるため、かなりの労力を要します。強い意志を持って取り組んでほしいと思ひます。

これまでも指導はしてきましたが、普段の授業や生活の中で、しっかりと受け答えをしていくことが大切です。

### ☆勝負の期末テストが迫ってきました☆

いよいよ2学期のまとめとなる期末テストが11月28日(金)に迫ってきました。進路実現に向けて、しっかりと力を蓄えていく時期であり、その理解度を確認できるテストでもあります。また、今学期の成績は、私立高校の専願・併願推薦入試(各高校の推薦基準)や県立Ⅰ期選抜試験に大きく関わってきます。2週間前に範囲が提示され、学習計画の作成を行い、計画的に取り組ませていきたいと思ひます。家庭学習が大切なポイントとなります。ご家庭でも、是非励ましの言葉を送ってあげてください。

